

1/22 木

# ガザ空爆」「国際共同開発」「F35か

## 次期戦闘機輸出 日本も紛争当事国に

米航空専門ブログ「アビエシヨニスト」によると、イスラエル軍は米国製のF35ステルス戦闘機をパレスチナ・ガザ地区の空爆に投入しているようだ。

F35の開発には英国など6カ国が参加し、日本やイスラエルなどが配備を進めています。

政府・与党は米国・イタリアと次期戦闘機を共同開発する方法を知っています。

イスラエル仕様のF35戦闘機  
(米国防総省DODDS)

侵攻開始後、国内に保管しているF35の部品をイスラエルに供給。ガザでは多くの民間人が空爆で殺害されおり、オランダの人権団体は「戦争犯罪への加担だ」と批判しています。

6月、米軍横田基地に隣接するIHI瑞穂工場(東京都)で、F35のエンジンの整備拠点の運用を開始。機

を踏み入れれば、日本製の戦闘機が無辜の市民の殺戮に使われ、国際法違反の紛争の当事者になる危険を示しています。

イスラエル国防軍のヘリ参謀総長は7日、ベバティム空軍基地視察で同国仕様のF35-Iを記して、「われわれは中東のことをでも剣達する方法を知っている」とスサイト「ダッシュ」マークによれば、同国はガザ

発し、武器輸出のルールを変えて第3国への輸出を狙っていますが、この道に足りておらず、上)部隊を支援してくるの

を見た。非常に重い弾薬と体から取り外されたエンジンは米国の管理下に置かれます。「横田基地の撤去をする」と述べ、F35が地上部隊の侵攻と連動して、精密な戦争を含めて、日本で説教兵闘で空爆を行ってい

る」と述べ、F35が地上部隊の侵攻と連動して、精密な戦争を含めて、日本で説教兵闘で空爆を行ってい

る可能性を示しました。

また、オランダのマーク

です。米国いいなりを象徴するものであり、許されま

せん」と批判します。